

それから数日後、大盛況とともにキャンディタウンの公演を終えたサーカス一座は次の街へと出発しました。

そして一  
ある日、フランソワに一通の手紙が届きます。

キミの手紙に書いてあったこと、"クッキーの魔法"は本当だったよ！

ボク、空中ブランコデビューのあの日、クッキーのかげら  
を包んでポケットに入れてたんだ。

成功したら残りを食べようと思って。

とってもとっても美味しかった。あの味は一生忘れない！  
どうもありがとう、フランソワ

心を込めて セバスチャン

クシャクシャの紙に元気いっぱいに書かれたその手紙を読んだフランソワの目から、温かい涙があふれてきました。

どろんこまみれでも挫けずに仲間に見せていた笑顔、  
デビューの日、目もくらむような高さで魅せてくれた凄腕の技の数々・・・フランソワにはまだ昨日のここのように思えます。

"私もセバスチャンの頑張りを生忘れたい！  
ステキな思い出をありがとう"

フランソワも心の中でこたえました。

それからというもの、フランソワは おうちのお菓子屋さんを一生懸命に手伝いながら、ママから少しずつ、色んなレシピを教わりました。

クッキーやラスク、ビスコッティーにシフォンケーキ・・・

どれもこれもママが食べる人の幸せを願って心を込めて作るメニューです。

そしてわかったこと一 それは"魔法の粉"の秘密☆

フランソワは 自分を信じる心、相手を思いやる気持ち、そんな優しさがあつまれば、ただのお砂糖も魔法の粉に生まれ変わることを知りました。

ママになったフランソワは現在、「森のぱんぼう」でパティシエールとして腕を振るう毎日です。  
そして近々、パンデーと一緒にお菓子作りをするようですよ。

あの"魔法の粉"を使って・・・☆

おしまい